（別紙4（2））

事業所名　グループホームあかり（各務原苑）

作成日：平成31年　4月　15日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時に備え、日ごろから地域の方と話し合い、ホームの事を理解して頂いたり、反対に地域の情報も知っておく必要があるのではないか。お互いに連携し協力しあえる体制をとっておこう。	災害に対する意識を高め、常日頃から地域と連携を取り速やかに避難できる体制を整えておこう。	避難訓練、救命講習には消防署の指導を受けながら行っているが、自治会、民生委員、近隣の方々に声をかけ一緒に訓練を行う機会をつくる。地域包括や同業の他施設とも連携し、災害時の避難場所の確保、オムツや寝具類の協力体制等を整える。運営推進会議などの機会に話をし、情報を共有する。	12ヶ月
2	2	近隣の同世代の方々が立ち寄って下さる機会がなかなか少ない。もっと気軽に遊びに寄って下さると交流ができ、楽しみも増えるのではないだろうか。	ホームの行事やレクレーションに地域の方々にも参加して頂き一緒に楽しんで頂こう。地域の方々にとって、気軽に立ち寄れる、馴染みの場所になると良い。	時々、ボランティアの方が歌や踊りを披露して下さることがある。あかりの行事や毎月の誕生会なども行っているが、その都度、近隣の方々にも声をかけ一緒に楽しんで頂けると良い。予定に入れて頂けるよう、早めに計画を立て、通知する。家族様には月次報告書の中でお知らせし、参加を呼びかける。	12ヶ月
3	13	日々の業務に追われ利用者様の楽しみにつながることが少なくなっているのではないだろうか。スタッフももっと楽しんで介護ができるとよいのではないか。スタッフ同士、声を掛け合い全員が同じ方向を見て助け合いながら日々の業務を行うことで、利用者様も満足して頂けるのではないだろうか。	一人ひとりのスタッフの資質の向上を目指し、仕事に対してやりがいが感じられる職場作りをしよう。	スタッフ同士が日ごろからコミュニケーションを図り、お互いに仕事に対する取り組みや考え方などを話せる関係を築く。毎月のユニット会議の中で、意見を出しやすい雰囲気作りをする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。